

サンプル・セッティング



Mellowed Out



Rotary Brake



Fat Harmonics



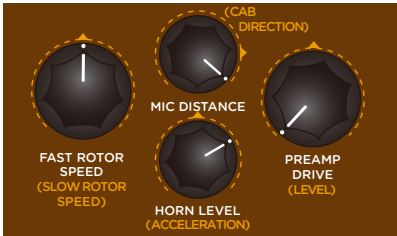
Classic Ballad



Maximum Drive



Swirly Horn



Distant Miking



Slow Overdrive

⚠ () 内はセカンダリー・ファンクションとその値を示しています。セカンダリー・ファンクションの操作方法は裏面をご覧ください。

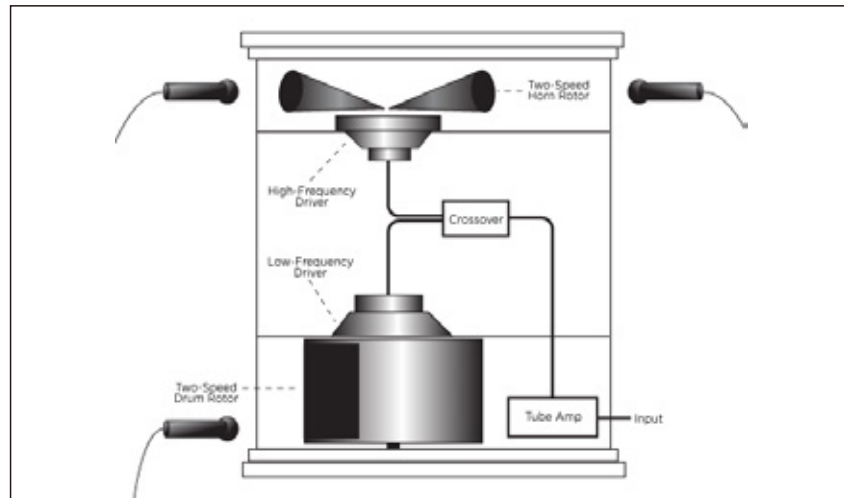
スペシフィケーション

入力インピーダンス	1M Ω
出力インピーダンス	100 Ω
S/N 比	110dB
A/D & D/A	24-bit 96kHz
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
最大入力レベル	+8dBu
DSP パフォーマンス	1596 Mega FLOPS
バイパス	トゥルー・バイパス (電子式リレースイッチ使用)
入力電圧 (パワーサプライ)	9VDC センターマイナス、250mA

strymon
a division of DAMAGE CONTROL, LLC.



Lex Rotary 日本語取扱説明書



ロータリー・スピーカーとは？

物理現象であるドップラー効果を利用して、ウネるようなトレモロ／ビブラートを発生させたり、深く揺らめくようなサウンドをもたらすのがロータリー・スピーカーです。有名な物では、ハモンド・オルガン奏者が好んで使用した「レスリー (レズリー) スピーカー」をご存知の方は多いのではないのでしょうか。

ロータリー・スピーカーには、回転式の高域用ホーンと低域用ドラムが搭載されており、それらは、速い回転の「トレモロ」と遅い回転の「コーラル」という2種類の回転スピードを切替えられるようになっていました。遅い回転の時には広がりとお興行がサウンドに加えられ、速い回転の時には混沌とした揺らめきを生み出します。

ロータリー・スピーカーのマイキングで最も良く使用されるセッティングは、キャビネットの上のホーン用に2本、下のドラム用に1本マイクを設置する方法です。また、マイクとキャビネットの距離によって、集音されるサウンドは大きく変化します。

FAST ROTOR SPEED (ファースト・ローター・スピード)

SLOW/FAST スイッチで、FAST モードへスイッチされた時のスピードを設定します。4Hz のゆっくりしたスピードから、8 回転/秒の速さまで設定できます。

MIC DISTANCE (マイク・ディスタンス)

ホーンとローターのマイキングの距離を調整します。近い設定は強烈でアグレッシブな効果が得られ、遠ざけるとアンビエンスの効いたメローな揺らぎが得られます。

PREAMP DRIVE (プリアンプ・ドライブ)

ロータリー・キャビネット内のチューブ・プリアンプと位相インバーター回路のドライブをコントロールします。時計回りで最大に近づくほど、オーバードライブしたサウンドが得られます。

HORN LEVEL (ホーン・レベル)

高域ホーンローターのボリュームを設定します。

SLOW / FAST FOOTSWITCH (スロー/ファースト・フットスイッチ)

モーター・スピードを切り替えます。ホールドするとブレーキがかかり回転が止まります。

BYPASS FOOTSWITCH (バイパス・フットスイッチ)

トゥルー・バイパスのスイッチで、エフェクトをオン/オフします。オンの時には LED が点灯します。

入力ジャック

モノラルの楽器レベルおよびライン・レベルの信号を入力します。入力インピーダンスは 1M Ω のハイ・インピーダンスです。

出力ジャック

モノラルのアンバランス端子が、左チャンネル、右チャンネル用にそれぞれ用意されています。出力インピーダンスは 100 Ω です。

FAVORITE switch または、エクスプレッション・ペダルの接続

TRS 端子のエクスプレッション・ペダルを接続し、任意のコントロールを操作することができます。ペダルを使用する場合、SLOW/FAST スイッチを押したまま電源をオンにしてください。電源投入後、最初に操作されたコントロールがエクスプレッション・ペダルで操作できるコントロールとなります。また、エクスプレッション・ペダルでのコントロール範囲は、最小値 ~ ツマミ位置となります。

エクスプレッション・ペダルを FAST ROTOR SPEED をコントロールに割り当てて、ホーンの回転スピードをペダルで操ることも可能です。

別売の『FAVORITE switch』を接続し、本体に記憶させたお気に入りの設定を瞬時に呼び出すことが出来ます。詳細は FAVORITE switch に付属のマニュアルを参照ください。

Lex Rotary では、FAVORITE switch を外部スイッチとして「SLOW/FAST」コントロールを割り当てることも可能です。詳しくは裏面の「電源投入時に操作できるセッティングの紹介」をご覧ください。

⚠ 接続するペダルまたはスイッチに応じて本体の設定を切替える必要があります。詳しくは裏面の「電源投入時に操作できるセッティングの紹介」をご覧ください。

この度は、DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。本製品は、DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社オールアクセスが購入後 1 年以内の品質保証を行っています。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。本書に記載された文章、図版は全て「著作権」及びそれに付随する「著作権隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用のみを許諾しております。

株式会社 オールアクセス

本社：愛知県あま市本郷三反地 2 1 番地
東京オフィス：東京都渋谷区桜丘町 30-4 渋谷アジアマンション 404

WEB www.allaccess.co.jp
E-mail : pedal@allaccess.co.jp

Secondary Functions（隠し機能）の紹介

本機では、両フットスイッチを同時に押し続けながら各コントロールを操作することによって、本体に記された通常のコントロール以外にも、図のような隠し機能の調整&設定を行うことができます。



CAB DIRECTION（キャブ・ディレクション）

ホーン部のマイキング位置が変更できます。FRONT の設定では、スピーカーから発せられたサウンドが、キャビネットのスリット（音が抜ける窓）を抜けてからマイクに到達します。REAR の設定は、キャビネット（ホーン側）が開いている部分でマイキングしたサウンドが得られます。REAR がデフォルト・ポジションです。

SLOW ROTOR SPEED（スロー・ローター・スピード）

SLOW セットアップでの回転スピードを調整します。スピードは「0」（ブレーキ状態）から設定できますので、静止状態と FAST の設定も可能です。

ACCELERATION（アクセラレーション）

FAST から SLOW 又は、SLOW から FAST へ切替えた時の立ち上がりスピードを設定します。それぞれのローターは異なるスピードで加速／減速を行います。低周波ローター（ドラム）は、本物のロータリー・スピーカーのように高域よりゆっくり動き出します。

LEVEL（レベル）

エフェクト時の出力レベルを +/- 6dB 調整できます。センターがユニティー・ゲイン設定です。

電源投入時に操作できるセッティングの紹介

本機では、電源投入時から両フットスイッチを継続して押しながら各コントロールの操作を行うことで、下記のような設定を行うことができます。これらのセッティングの際には、各コントロール・ノブを左に回すと SLOW / FAST LED が点灯し、右に回すと BYPASS LED が点灯します。センターの位置の設定の際は、両方の LED が点灯します。設定確認の目安としてご利用ください。



EXP INPUT ASSIGN（外部入力のアサイン）

電源を入れる際に、FAST ROTOR SPEED コントロールを使用用途の位置に設定することで、EXP ペダル入力の使用用途を、エクスプレッション・ペダル又は FAVORITE スイッチに設定することができます。

EXP PEDAL：エクスプレッション・ペダルの使用

EXTERNAL SPEED SWITCH：FAVORITE スイッチで FAST / SLOW を切り替えます。

FAV SWITCH：FAVORITE スイッチで、フェイバリット（お気に入り）セッティングをメモリー／リコールできます。

CAB FILTER（キャビネット・フィルター）

電源を入れる際に、MIC DISTANCE コントロールを使用用途の位置に設定することで、ギターアンプに接続する場合と、フルレンジ・スピーカーに接続する場合のキャビネット・フィルターが選択できます。キーボード、PA システム、ライン・レコーディング等の用途では、フルレンジ・モード（FULL RANGE SPEAKER）の設定をお奨めします。

BI-AMP（バイ・アンプ設定）

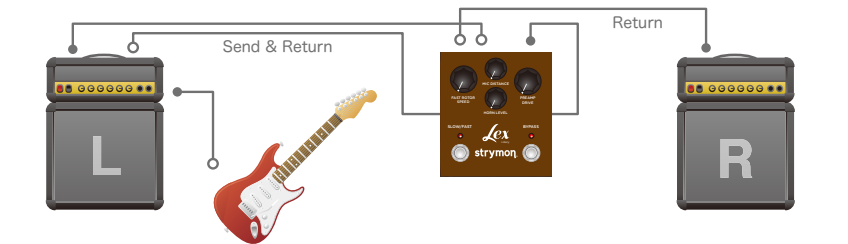
この設定を変更することで、通常はステレオ出力となっているアウトプットを低域と高域に分けて出力（Bi-Amp）することが可能になります。BI-AMP モードでは、Left 出力＝ウーハー、Right 出力＝ホーンの信号が出力されます。

セッティング例

ギターアンプの前段に Lex Rotary を設置する接続例です。歪み系のペダルを使用する場合、本機の前に接続するのが一般的です。本機のステレオ出力から、2 台のギターアンプへ信号を送ることも可能です。



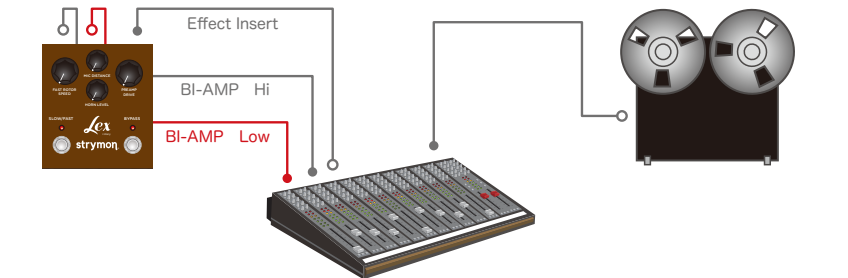
ギターアンプのエフェクト・ループに Lex Rotary をインサートする接続例です。



Lex Rotary の入出力は、ライン信号レベルにも対応していますので、キーボードやシンセサイザー等のエフェクターとしても使用することができます。電源投入時に操作できる「CAB FILTER」によって、出力音のレンジを GUITAR AMP と FULL RANGE で切り替えができます。音が変化しますので、好みによってお試しください。



Lex Rotary の入出力は、ライン信号レベルにも対応していますので、ミキサーのインサートに挿入してエフェクトを掛けることも可能です。レコーダーや PA に接続する際は、バイアンプ・モードでの接続をお勧めします。



モノラル or ステレオ 入出力切替

入力ジャックに TRS ジャックを採用しており、本体内部にあるジャンパー・スイッチを切替えることで、入力を Mono / Stereo に切替えることができます。スイッチは本体の裏蓋を外した中にあります。ステレオで入力する場合には、TRS ステレオ入力ケーブル（Y 字ケーブル）を使用してください。

モノラル入力（デフォルト）：右 2 つのピンをジャンパーしてください。
ステレオ入力：左 2 つのピンをジャンパーしてください。

